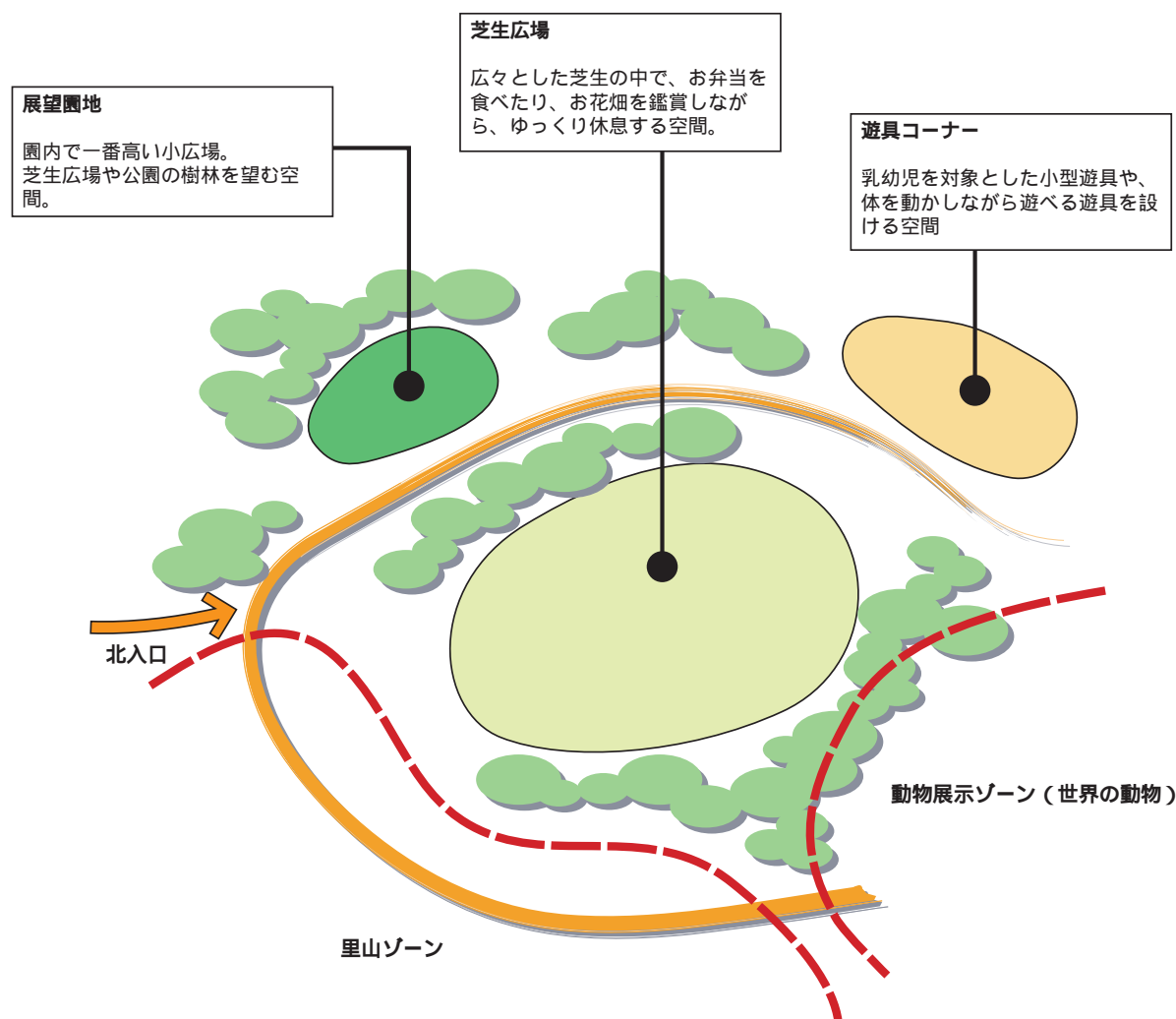


園地ゾーンの考え方

園地ゾーンでは、自然の中でのやすらぎや楽しみが得られる特色あるレクリエーション機能を充実させるため、下図の施設を導入する。また、各施設の配置は、最も面積を必要とする芝生広場を中心に、地形状況や既存遊具の配置等を考慮し設定する。



遊具選定の基準

計画地の基本理念や全体イメージを考慮すると、現在の到津遊園に設置されている遊具は、必ずしも望ましい施設であるとは言い難く、動物の飼育環境としても、騒音等好ましくないものが多い。また、大型テーマパークとの役割分担やレジャーの高度化などにより、既存のスリルを楽しむ大型遊具の存続についても、十分検討を行う必要がある。

さらに、現況の遊具の中には、設置年度が古く老朽化したものや、メンテナンス等の費用が高額なものなど、維持管理上の問題を生じる可能性のあるものも多く見られる。

しかしながら、市民意見調査の結果では、乳幼児を対象とした遊具に対する要望も多く見られるため、ここでは、計画地の役割や性格を考慮した次の選定基準を設定し、将来的に計画地の運営の方向に合致する施設についてのみ残すこととする。

遊具選定の基準

- ・計画地の自然を知ることができる、森を眺望する遊具
- ・動物を新しい視点で見ることができる、高い位置をゆっくり走行する遊具（モノレールなど）
- ・身近なレクリエーションを満足させ、ニーズも高い乳幼児向けの遊具（子供汽車、メリーゴーランド系のもの）
- ・身近な遊びの一要素として、体を動かす遊具（サイクルモノレールなど）
- ・管理費等において維持管理上大きな問題を生じないもの